

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05020330

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	10	地域福祉の推進	事業優先度	B		
単位施策	1	福祉意識の醸成	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	雄武町遺族会運営補助事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	5	保健福祉課	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	団体の安定運営			#N/A		
事業目標	運営費補助		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	雄武町戦没者の霊に追悼の誠を捧げるとともに、平和への誓いを新たにすべく英霊の慰霊顕彰に努め、戦没者遺族等の処遇改善の促進と雄武町遺族会の活性化を図るため、運営費の補助を行う。	運営費の補助を行う。	運営費の補助を行う。	運営費の補助を行う。	運営費の補助を行う。	運営費の補助を行う。	
	事業費(千円)	260	40	40	60	60	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	260	40	40	60	60		
実 績 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	200	40	40	60	60		
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) 雄武町遺族会に対しての会の振興と活動活性化を促進するための運営補助金 遺族会員 63名	(実施内容等) 雄武町遺族会に対しての会の振興と活動活性化を促進するための運営補助金 遺族会員 61名	(実施内容等) 雄武町遺族会に対しての会の振興と活動活性化を促進するための運営補助金 遺族会員 54名	(実施内容等) 雄武町遺族会に対しての会の振興と活動活性化を促進するための運営補助金 遺族会員 48名	(実施内容等)	
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/拡充	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 運営費補助	年度達成率 100%	年度達成率 100%	年度達成率 100%	年度達成率 100%	年度達成率 0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率 備考欄	全体達成率 15%	全体達成率 31%	全体達成率 54%	全体達成率 77%	全体達成率 77%

事業名	雄武町遺族会運営補助事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	社会福祉係	西方 苗

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町遺族会	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	運営補助金の交付	
【抱える課題やニーズは】	会員の高齢化、処遇改善の促進と活性化。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	事業運営基盤の安定を図る。	① 交付実績	目標年度	平成28年度
			目標値	60千円
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	戦災を後世に伝えることや追悼式への参列で二度と戦争を繰り返さないという啓発と遺族への援護に効果を得ている。	②	実績値	60千円
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	補助金の交付	雄武町遺族会へ運営費の補助金を交付した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	戦災を後世に伝え、戦争があってはならないという啓発と遺族援護の活動を支援するためにも、補助の必要性は高い。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことで、雄武町遺族会の活動が促進された。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	町の補助は、雄武町遺族会の基盤の安定を図るため必要であるが最小限度となるよう努めている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	会員は減少傾向であるが、雄武町全体の遺族や戦没者等を対象としていることから、運営費の補助は公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
運営費を補助することで、遺族会活動のスムーズな運営が促進されるため、計画どおり事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
雄武町にゆかりのある戦没者遺族で組織されている遺族会の活動や運営が促進するため、継続維持が適当である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止